	月	内容		ポイント
1 学 期	4	(入学式・始業式までに) □児童生徒に関する情報収集 ・前担当者からの引継・これまでの指導状況の □教育課程の編成・時間割作成 □環境整備・諸帳簿の整備・会計等 □教材選定 □新入生を迎える準備 □学級だよりの作成	把握	【教育課程の編成】 ・新しく担当する人は児童生徒の実態がわからないので、教育課程は本人のニーズを踏まえ、前年度中に行っておくことが望ましい。 【交流及び共同学習の計画】 ・本人、保護者のニーズを踏まえ、教科・領域及び行事等への参加について校内で検討し、計画を立てる。
	5	第1週 担任と児童生徒との関係づくり 児童生徒の実態把握 ※家庭訪問や個別の懇談等の機会に、 児童生徒のニーズを把握する。 個別の指導計画作成	毎日の指導や児童生徒	【環境づくり】 ・機能的な教室環境づくり ・靴箱、傘立て、ロッカーなど  【新入生の保護者へ連絡】 ・入学式当日のタイムスケジュールを 確認(児童生徒、保護者の動きを明 確にしておく)。 ・必要に応じて校内の下見やリハーサ
	7	日本1 伊明の投資計画のお美さます	の	ルを行う。
	8	一 光直し、 個別の指導計画の以音をする。 	状	│
2 学 期	9		況を担当者, 保護者と	計を行うことが大切。 ・高等学校や特別支援学校への入学 に関する正しい情報提供,教育相 談をする。(進路指導担当者との 連携) ・職場体験や実習も計画的に行う。
	11	学期末評価 個別の指導計画に基づき評価を行い,支援の	とだ共有し	【学校行事への参加】 ・児童生徒の実態に応じ、ねらいを 明確にして参加の仕方を検討す
3 学期	1 2 3	見直し、個別の指導計画の改善をする。  入試出願準備(中学校)  特別支援学校高等部入学者選考検査 高等学校入学者選抜試験  学期・学年末評価 指導要録の作成 ・今年度の評価と来年度に向けて支援の 見直し、改善点を明確にする。 次年度への引継 ・教育課程の編成 ・個別の教育支援計画・個別の指導計画の 評価、改善	2、共通理解を図る。	る。(事前の計画,打合せ,準備を綿密に行う) ・必要に応じて全職員及び全校児童生徒の共通理解を図る。  【就学相談・体験入級等】 ・管理職・特別支援教育コーディネーターと連携し、校内体制の一環として行う。 ・入級対象者等への教育相談、教室見学、体験入級を実施(随時)。